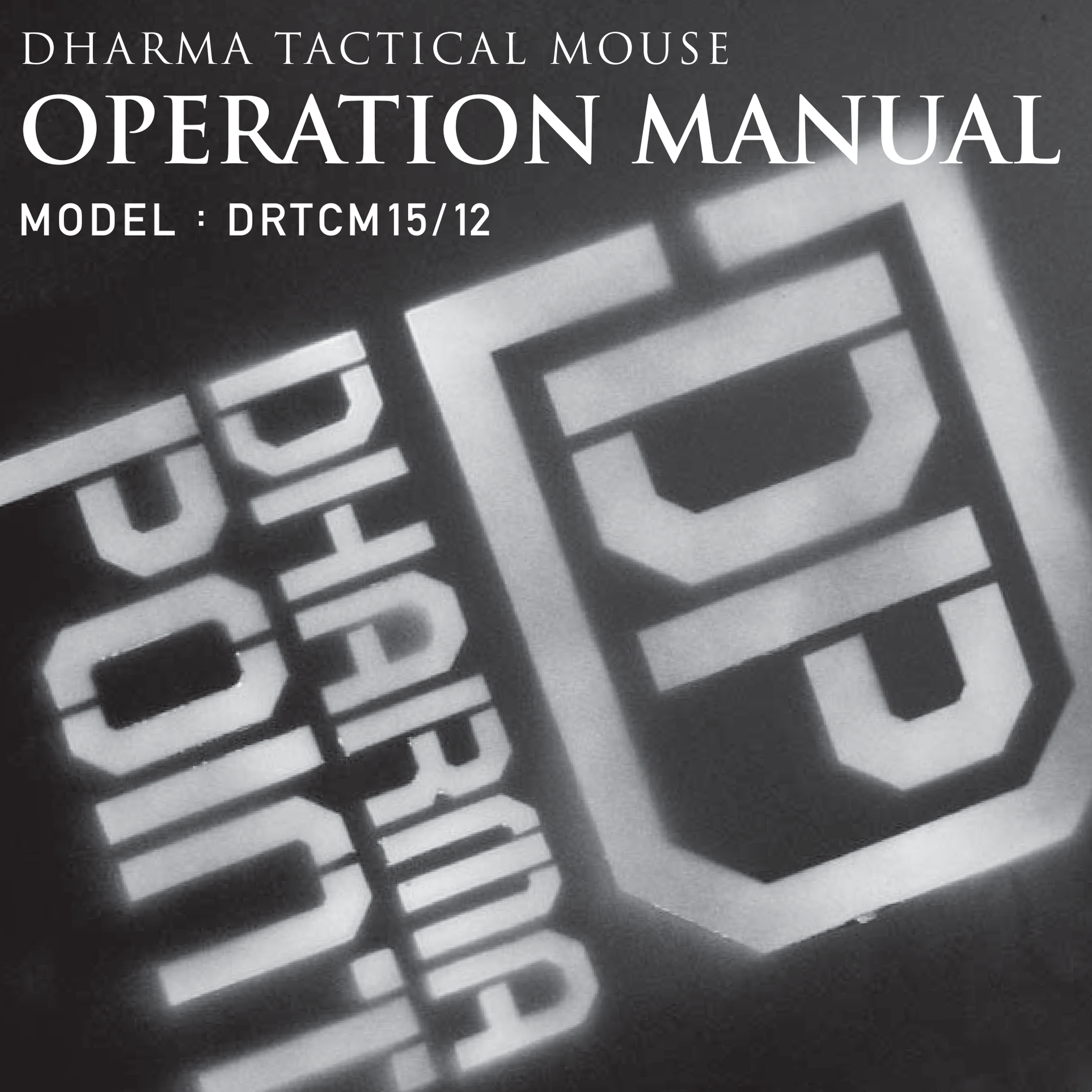
DHARMA TACTICAL MOUSE

# OPERATION MANUAL

MODEL : DRTCM15/12



# CONTENTS

## DHARMA TACTICAL MOUSE OPERATION MANUAL MODEL : DRTCM15/12 VOL.1


**機器について**

はじめに ····· 2
使用許諾書 ····· 2
製品使用上のご注意 ····· 3
パッケージの内容 ····· 4
製品仕様 ····· 4
本製品の取扱について ····· 5
レーザーセンサーの取り扱いについて ····· 5
マウス各部の名称 ····· 6
各インジケータの表示について ····· 7

**ソフトウェアについて**

ダーマコントロールのインストール ····· 10
ダーマコントロールの機能について ····· 12
ダーマコントロール 画面機能の名称 ····· 14
ボタンの割り当て方法［スクリプトの作成］ ····· 19
チュートリアル ····· 23
作成したスクリプト・グループの管理について ····· 26
ファームウェアのアップデート ····· 27
製品サポート ····· 28

# DHARMAPOINT マウス 取扱説明書
# 機器について

# はじめに

このたびは、「Dharma　Tactical Mouse　ダーマタクティカルマウス」をお買い上げいただき頂き誠にありがとうございます。本製品は高性能センサーを採用しUSBフルスピード接続によりレポートレート125~1000Hzを実現しておりトップレベルの情報伝達能力を持った高性能ゲーミングマウスです。

本製品の特徴としてマウス本体内にボタン割当などをフラッシュメモリに搭載することにより5つのモードに、それぞれに任意のボタン配置およびキースクリプトを設定可能です。

これによってボタン割当を設定した本製品を他PCに接続しても、特別なドライバのインストールなしにボタン割当が使用可能となり、マシンを選ばすマウス1つでLANパーティ等に参加することができます。

*ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

- 本書の内容を許可無く転載することは禁じられています。
- 本書の内容についてのご質問やお気付きの点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。
- 本書の内容については予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載しているソフトウェアの画面やアイコンなどは実際のものと異なることがあります。
- Dharma Pointおよびダーマポイントはシグマ A・P・O システム販売株式会社のゲーム関連ブランドです。

*デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。

# 使用許諾書

お客さまへ、本製品を使用される前に必ずお読みください。

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社シグマ A・P・O システム販売株式会社では、ソフトウェアをお客様に提供するにあたり「使用許諾」にご同意いただくことをご提供の条件とさせていただいておりますので、ソフトウェアを開封される前に必ず下記「使用許諾」をお読みください。
なお、お客様がソフトウェアの入ったディスクを開封された場合には本「使用許諾」にご同意いただいたものといたします。万一本「使用許諾」にご同意いただけない場合は未開封のまま速やかに購買店に製品一式をご返却ください。本製品ご購入代金を返還させていただきます。

**1. ソフトウェア使用の許諾**

1.1 お客様は、以下の使用許諾に従い、この文書と共に提供されている弊社ソフトウェア・プログラム（以下、「本ソフトウェア」とします）をご使用頂けます。

(a) お客様は1台のコンピュータ上で本ソフトウェアを使用するものとします。

(b) お客様は上記コンピュータ上で使用するため、当該コンピュータのメモリ、ハードデイスク等の記憶装置に本ソフトウェアを1部複製することができるものとします。その場合には当該コンピュータで使用するために必要な限度において本ソフトウェアの改変ができるものとします。

(c) お客様は専ら私的使用に限り本ソフトウェアを1部に限り複製することができるものとします。ただし、私的利用のバックアップ用の複製物にはシグマ A・P・O システム販売株式会社及び弊社によって提供時に含まれていた著作権表示その他の警告が全て含まれなければならないものとします。

(d) お客様は弊社の文書による承認を得ないで、形式又は方法の如何を問わず、上記 (b)(c) の場合以外の本ソフトウェアの複製、逆コンパイル、逆アッセンブル、改変はでません。

(e) お客様は上記 (c) の複製権及び複製物を第三者に譲渡できません。

(f) お客様は本ソフトウェアを第三者に貸与できません。

1.2 お客様は本ソフトウェアを、同梱の製品、付属品と一体で本使用許諾を承認する第三者に限り譲渡することができます。その場合には、お客様が前項 (b)(c) により複製した本ソフトウェアの複製物及び改変物の全てを消去、破棄しなければなりません。

1.3 お客様が本ソフトウェア又はその複製物を第三者に譲渡した場合には、お客様に対する本ソフトウェアの使用許諾は自動的に終了し、お客様はその保有する本ソフトウェアの複製物を消去廃棄しなければなりません。

**2. 保証及び責任について**

2.1 弊社は本製品に同梱されていた保証書をご提示頂いたお客様に対し、次の通り弊社製品を保証させて頂きます。なお、この保証を受ける権利は他に譲ることはできません。

(a) この文書と共に提供されているハードウエア製品の保証期間に関しては、その製品と一緒に同梱されていた保証書に明記されています。お客様のご購入日より、その期間、通常の使用許諾のもとにおいて、材質又は製造上の重大な欠陥がなく、実質的に付属の製品マニュアルに基づいて動作すること。

(b) 本ソフトウェアに関しては、お客様のご購入日より90日間、通常の使用許諾のもとにおいて、実質的に付属の製品マニュアルに基づいて動作すること。

2.2 弊社は保証書をご提示頂いたお客様に対し、前項の保証期間内において正常な使用状況で前項の弊社製品が故障した場合には、無償修理又は無償交換もしくは支払額の返金を致します。修理又は交換したハードウエア又はソフトウェアは、残存保証期間或いは修理交換品のお渡し日より90日間のいずれか長い期間、再度保証されるものとします。

2.3 弊社は、次の場合には有償にて弊社製品の修理を行います。

(a) 保証期間が経過した場合。

(b) 保証書のご提示が無い場合。

(c) 保証書に記入漏れ（販売店名及びご購入日については製品の領収書でも有効）、あるいは字句を書き換えられた場合。

(d) 使用上の誤り、または弊社以外での改造、修理による故障や損傷。

(e) 火災またはその他の天災による故障、損傷及び落下等の衝撃による故障損傷。

(f) 本製品のハードウエアを分解した場合、またはソフトウェアを改変した場合。

2.4 弊社の保証は日本国内においてのみ有効なものとします。

2.5 弊社ハードウエア製品及びソフトウェアの故障又は使用上に生じた誤作動、使用不能等によりお客様に生じた損害は、あらゆる直接損害間接損害を問わず（事前に弊社が損害発生の可能性につき告知されていた場合を含め）、弊社に一切の賠償責任はないものとします。

2.6 弊社は、本書面において明記する場合を除いて、本ソフトウェア、提供するハードウエア、付属の製品マニュアル及び印刷物に関して、特定の目的のための商品性又は適合性に関する黙示の保証及び第三者の権利の遵守に関する黙示の保証、その他いかなる明示又は黙示の保証をなすものではありません。また、弊社及び 弊社製品の販売者、代理店及びその従業員は、幣社の保証及び責任につきいかなる修正、拡張をなす権限も与えられておりません。

**3. その他**

3.1 本使用許諾書に関して生じた紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所とし、条項の解釈は日本法に準拠してなされるものとします。

以上

シグマA·P·Oシステム販売株式会社

# 製品使用上のご注意

- 本書の著作権はシグマA·P·Oシステム販売株式会社が所有しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製転載することを禁止致します。
- 本書の内容に関しましては万全を期しておりますが、万一ご不審な点、記載漏れ等がございましたら、販売店または弊社までご連絡下さい。
- 本書の内容については予告なく変更する場合があります。
- 本書に記載しているソフトウェアの画面やアイコンなどは実際のものと異なる場合があります。
- 本製品のデザイン及び仕様は製品改良のため予告なく変更する場合があり、購入された製品とは一部異なることがあります。
- 本製品は一般的なオフィスや家庭機器としてお使い下さい。万一、一般OA機器以外として使用されたことによる損害が発生した場合、弊社は責任を負いかねますのでご了承下さい。
- 弊社は製品の故障に関して一定の条件下で修理を保障致しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については保障しておりません。
- 本書に記載された注意事項を遵守して下さい。また必要なバックアップを作成して下さい。お客様が本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失·破棄に伴う損害が発生したとしても、弊社はその責任を負いかねます。
- 本製品に起因する債務不履行または不正行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入金額と同額を上限と致します。
- 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。
- その他、記載されている製品名、社名は一般的に各社の登録商標、商標です。

# パッケージの内容

本製品パッケージにはキャンペーン等での添付品を除いて次のものが含まれます。ご使用になる前に必ずご確認して下さい。なお梱包には万全を期しておりますが、万一不足品・破損品等がありましたら、すぐにお買いあげ販売店にご連絡してください。

マウス本体 ····· 1台
ドライバCD ····· 1枚
取扱説明書（本書） ····· 1部
保証書 ····· 1枚

# 製品仕様

| | |
|---|---|
| 対応OS | 日本語版OSシステム: Windows® 7、Windows Vista®、Windows® XP搭載のDOS/Vパソコン<br>Windows® XP搭載のDOS/Vパソコンでチルト機能をご利用いただくにはドライバのダウンロードおよびインストールが必要です。 |
| 対応機種 | USBポートを標準で持ち、パソコン本体メーカーが上記対応OS上でのUSBポートの動作を保証している機種。<br>（一部対応しない機種があります）NEC_PC-9800、PC-9821シリーズには対応しておりません。要CD-ROMドライブ<br>＊ファームウェアアップデートには別途USBマウスが必要です。 |
| インターフェース規格 | USB1.1（タイプAコネクタ）USBフルスピードモード16bitウルトラデータパス |
| マウス仕様 | ボタン数：10（cpi切替スイッチ、MODE切替えスイッチ含む）<br>ホイール：チルトホイール/抑制機能あり<br>割り当て可能範囲：9（左右クリック、左サイドボタン×2、センターホイール、チルトボタン×2、cpi切替スイッチ×2、）＋ホイール上下<br>本体内にスクリプト収納用フラッシュメモリ内蔵：5モード<br>アプリケーションによる自動切替機能 |
| 主要材質 | マウスフィート：PTFE（ポリテトラフルオロエチレン） |
| 動作環境 | 温度0℃～45℃、湿度10％～90％（結露なきこと） |

## DRTCM15 仕様

| | |
|---|---|
| レーザーセンサー仕様 | トラッキング解像度 ····· 90～1620～5040cpi（90単位でユーザー任意設定）（X/Y軸可変可能）<br>最大加速 ····· 30G<br>最大スピード ····· 150ips（マウス操作面の材質によって異なります）<br>フレームレート ····· 11,750fps<br>USB データバンド ····· 16bits/axis<br>USB レポートレート ····· 125～1000HZ（ユーザー任意設定）<br>スリープモード ····· なし DCモード動作による常時稼動<br>リフトオフディスタンス調整機能 ····· あり<br>ファームウェアアップデート機能 ····· あり（別途 USB マウスが必要です） |
| 本体寸法 | W64×D121×H42mm |
| ケーブル長 | 約1.8m |
| 重量 | 本体約110g（ケーブル含む） |

## DRTCM12 仕様

| | |
|---|---|
| 光学式センサー仕様 | トラッキング解像度 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 400-800-1200-1600cpi（ユーザー任意設定）<br>3200cpi エミュレーション動作（X / Y軸独立設定可能）<br>最大加速 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15G<br>最大スピード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40ips（マウス操作面の材質によって異なります）<br>フレームレート ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6,400fps<br>USB データバンド ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16bits/axis<br>USB レポートレート ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 125 ～ 1000Hz（ユーザー任意設定）<br>スリープモード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ なし　DCモード動作による常時稼動<br>リフトオフディスタンス調整機能 ・・・・・・・・・ あり<br>ファームウェアアップデート機能 ・・・・・・・・・ あり（別途 USB マウスが必要です） |
| 本体寸法 | W64×D121×H42mm |
| ケーブル長 | 約1.8m |
| 重量 | 本体約110g(ケーブル含む) |

# 本製品の取扱について

* ご利用の PC および OS 環境によってはすべての機能をご利用いただけない場合があります。
* 本製品のファームウェアアップデートには、別途 USB マウスが必要です。
* モード自動切替えは別途アプリケーションの常駐が必要です。またセキュリティソフトによっては正常に動作しない場合があります。
* USB ポートに接続する場合は、パソコン本体のポートに接続してください。
* USB ハブ経由で接続すると正しく動作しない場合があります。
* チルト抑制機能は完全にチルト動作を防止するものではありません。完全に動作を防止するには別途ボタン動作無効化の必要があります。
* その他、記載されている製品名、社名は一般的に各社の登録商標、商標です。
* 一部のアプリケーションによっては本製品の機能をご利用できない場合があります。
* 透明ガラスなどの一部の表面では動作しにくい場合があります。
* Windows Vista®/7 搭載の IE（インターネットエクスプローラ）は OS が標準で提供するチルト機能に対応しておりませんのでご注意ください。
* 製品の仕様は予告無く変更される場合があります。

# レーザー製品の取り扱いについて

**レーザー発生装置仕様**

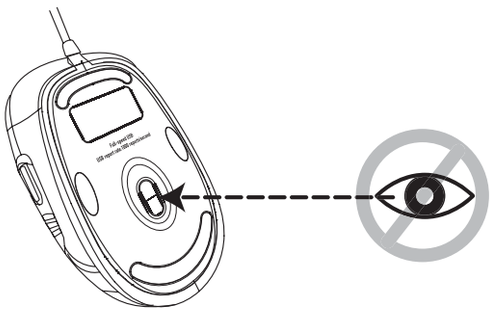
- 不可視赤外線の平行ビーム放射
- 出力安定化回路を持つ波長 830 ～ 860nm、出力 600 ～ 720 μW のレーザー発生装置

**安全と効率的な使用のために**

クラス 1 レーザー製品は、人体に影響を与えない低出力レーザー発生装置を使用しており、合理的に予測可能な条件下で安全にご使用いただけます。

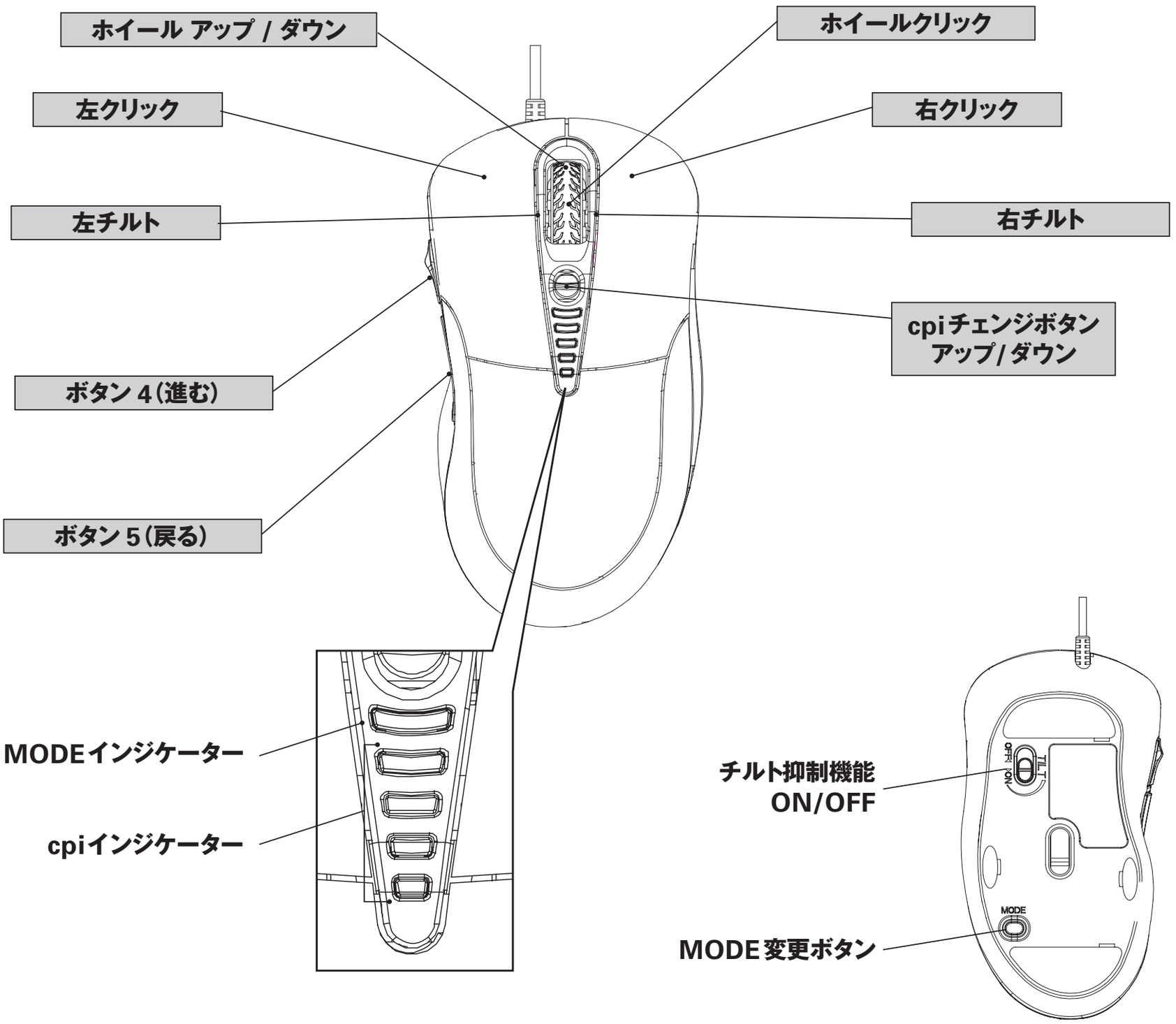
ただし、以下の事項を心がけてご使用になることをお勧めいたします。

- 他人の目に向けてビームを向けないでください。
- 適切な使用が不可能な場合や問題解決がされない場合、機器を取り外し弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。
- 摂氏 0 度から 40 度の範囲を外れた気温では本製品の使用を中止してください。
- 観察のためにビーム発射口を覗き込まないでください。



# マウス各部の名称

のボタンはスクリプトの割り当てが可能なボタンです。



## MODE インジケータ

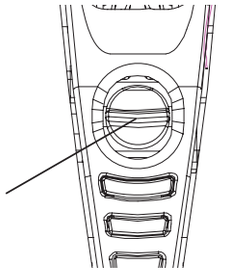
MODEインジケータは用途に合わせたボタン配置を記憶したプロファイルをマウス底面のMODE変更ボタンで以下のように変更することができます。

**MODE1→MODE2→MODE3→MODE4→MODE5**

*MODE5から変更するとMODE1に戻ります。

## CPI チェンジボタンについて

本製品は本体上部に設置されたCPIチェンジボタンによって本体のCPI設定を変更することができます。



cpiチェンジボタン
アップ/ダウン

## チルト動作について

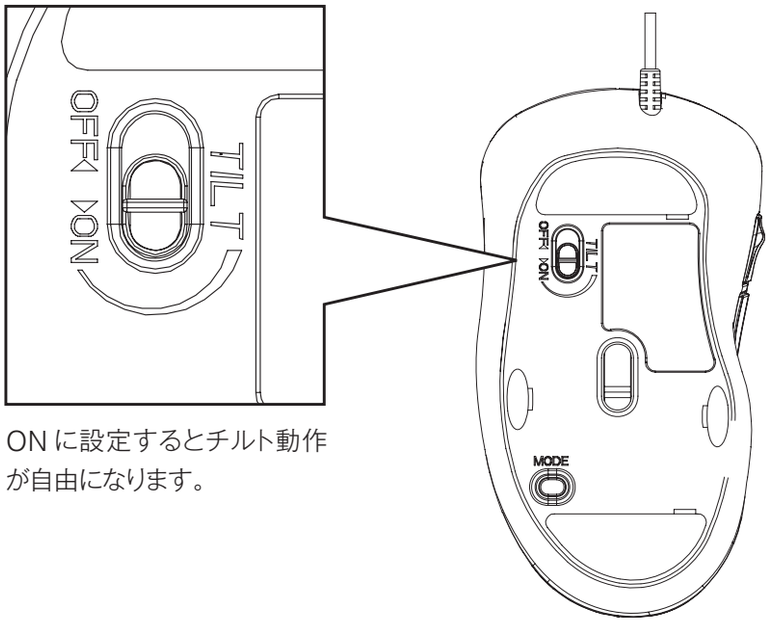
基本的にチルトホイールボタンはキー割り当て可能なオプショナルボタンとして設定されています。

本製品をWindows Vista / 7にてチルトマウスとして使用する場合には添付の専用ソフトウェア” ダーマコントロール2” においてチルト機能設定を行う必要があります。 またWindows XPにおいては” ダーマコントロール2” のシステムへの常駐が必要です。

## チルト抑制機能について

本製品にはチルト動作を抑制する機構が搭載されています。 ダーマコントロールにてボタン無効化と組み合わせることで回転中のチルト動作を抑制し一般的なホイールマウスとして振る舞うことができます。

チルトボタンを完全に無効化する場合にはボタンセッティングの機能無効化を選択してください。




ON に設定するとチルト動作が自由になります。

# DHARMA POINT マウス 取扱説明書
# ソフトウェアについて

# ゲームマウスエディター ダーマコントロールのインストール

ダーマコントロールはマウス本体の設定情報の書き換えや変更に必要となるユーティリティソフトウェアです。

マウスの基本動作そのものについてはOS標準のドライバで動作しますので、本ソフトウェアの起動あるいは常駐は必要ありません。ただし、アプリケーション毎モード自動設定機能をお使い頂く場合やマウス本体の各種パラメータ設定変更などカスタマイズに必要な機能が搭載されており、出荷時の標準設定以外へのパラメータ変更をご希望の場合は本ソフトウェアのインストールをお勧めします。

**⚠ 注 意**

ダーマコントロールは本製品が接続されていない状態では正常に動作しません。他社製マウスおよびキーボードソフトウェアがインストールされている場合、アンインストールを行ってください。他社製ソフトウェアが導入されている場合、競合を起こし正常に動作しない場合があります

## インストールの手順

以下説明中のスクリーンショットは実際の画面と異なる場合があります。

### 1. Setupの起動

添付のCD内の **“Dharma Control_Setup”** アイコンをダブルクリックしてください。

### 2. インストールオプションの選択

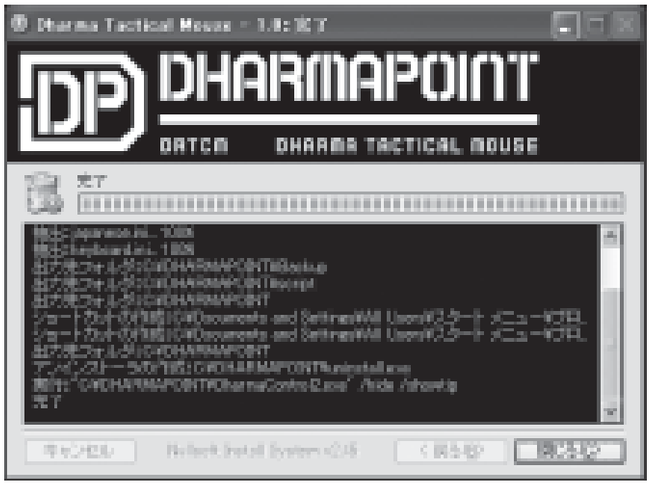
インストールしたいコンポーネントにチェックを付けてください。インストール不要なものについてはチェックを外してください。続けるには「次へ」をクリックしてください。

### 3. インストールフォルダの選択

特に指定がなければ **“C:\Program Files\Dharma Point”** にインストールされます。 変更したい場合には参照を押して別のフォルダを選択してください。

### 4. インストールの完了

ファイルが展開されインストールが進行します。 完了の表示がでましたら“閉じる”をクリックしてください。



# ダーマコントロールの機能について

ダーマコントロールはマウスの基本設定、ボタンの割当、スクリプトの作成、管理などマウスの設定に必要な機能を提供します。

## ダーマコントロール メイン画面について

**スタート⇒すべてのプログラム⇒Dharma Tactical Mouse⇒Dharma Control2** をクリックしてください。

起動させると各画面からタブを使用しボタン設定、スクリプトの作成、変更、CPI変更など本体の変更を行うことができます。

**①ボタンセッティングタブ**

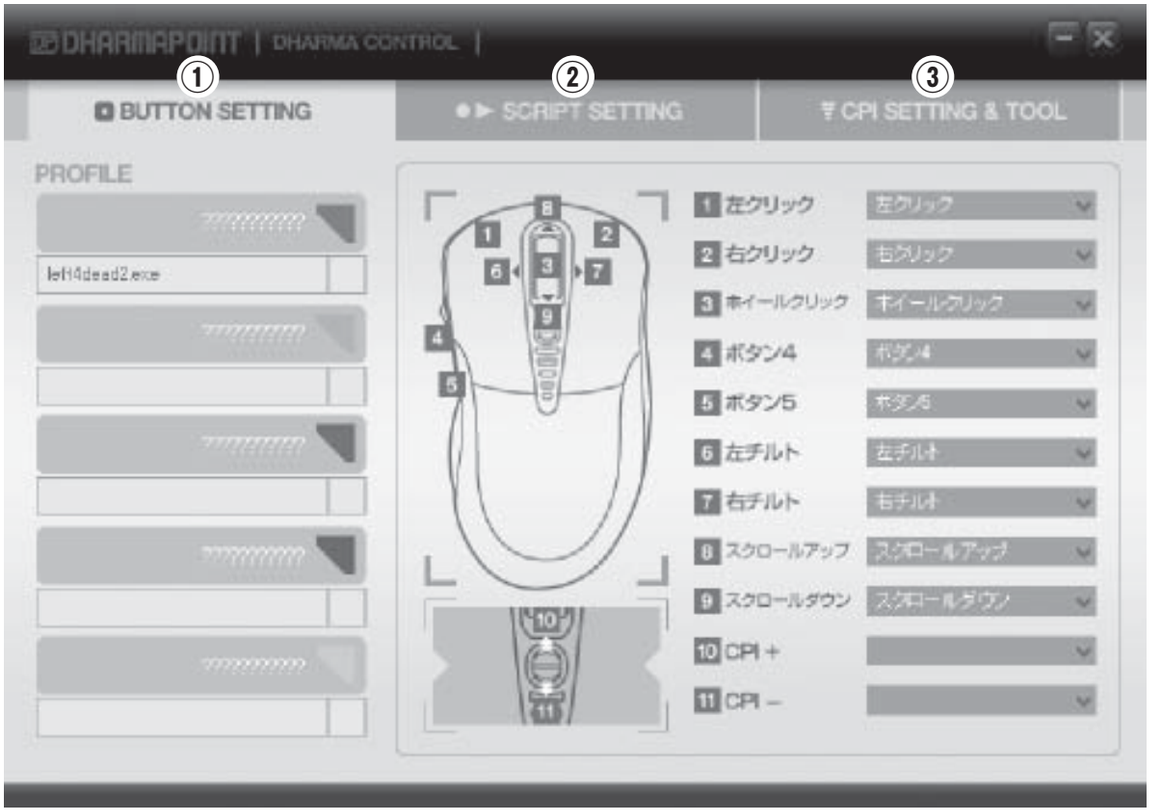
各ボタンへの割当を設定します。

**②スクリプトセッティングタブ**

スクリプトの記録・変更管理を行います。

**③CPIセッティング&ツールタブ**

cpi、レポートレートなどマウスの基本設定を行います。




ボタンセッティングタブ画面

## 設定の流れ

ダーマコントロールインストール後、本製品のセッティングは以下の流れとなります。

**マウスの基本設定「CPIセッティング＆ツールタブ」**

cpi設定、レポートレート、各ボタンの設定使用の可否など、マウス基本設定を行います。

↓

**スクリプト作成「スクリプトセッティングタブ」**

エディットエリアでキー / ボタン操作やその間隔等を記録してスクリプトを作成します。 タイミングの調整やカスタマイズ等を行います。

↓

**スクリプト保存「スクリプトセッティングタブ」**

作成したスクリプトをマウス本体へ保存します。 これによっていつでも作成したスクリプトを呼び出すことができます。 また作成したスクリプトはローカルPCへ保管することもできます。

↓

**ボタン割り当て「ボタンセッティングタブ」**

マウス本体に保存したスクリプトをモード別に各ボタンに割り当てプロファイルを作成します。 またアプリケーション毎にMODEを自動変更するように設定することもできます。

↓

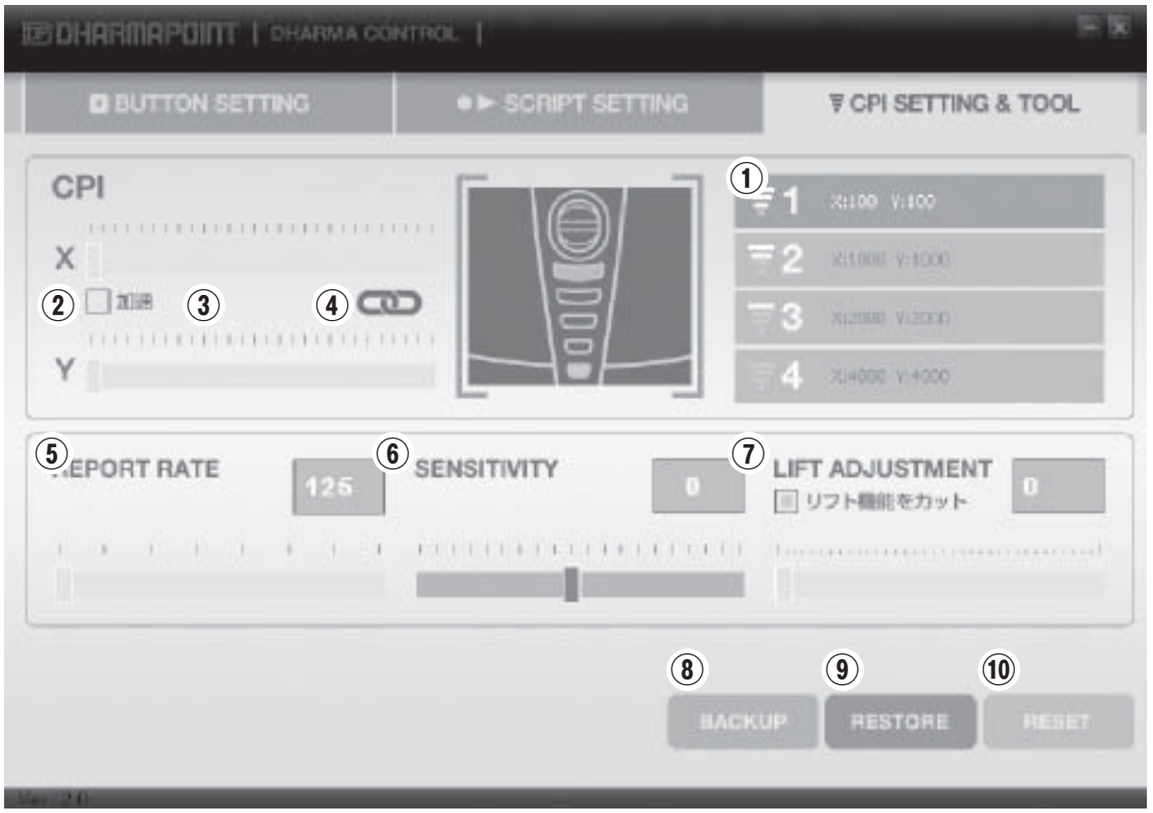
**実戦配備**

各ボタンの機能を確認してみましょう!思ったとおりのアイデアを実践できたでしょうか? ベストセッティングは簡単には出ません。 試行錯誤を繰り替えしましょう!

# ダーマコントロール 画面機能の名称

## CPI セッティング&ツール［マウスの基本設定］

マウスの基本設定を行います。 画面上の CPI SETTING & TOOL タブをクリックすると以下の画面が開きます。




### ① レベル変更

レベルごとのCPIチェンジボタンでの設定値を設定します。

### ② CPIレベル設定

レベルごとにCPI設定を変更できます。 スライダーを使用して変更してください。 変更はレベルごとに異なった設定が可能です。

### ③ 加速

ポインタの加速の有無を決定します。

> **⚠ 注 意**
>
> 本設定はお使いの PC のコントロールパネル内のマウスの設定を変更します。

### ④ X/Y軸設定チェックボックス

チェックを入れるとX軸とY軸の変更比率を1:1に設定できます。チェックをはずすとX軸とY軸でそれぞれ異なったcpi設定ができ横方向の動きを鋭敏にするなど細かい設定が可能です。

## ⑤ レポートレートの設定

マウスがPCに情報を送信する回数の事で、単位はHzで表示されます。 現在のUSBマウスで一般的なケーブルタイプマウスでは125Hz、つまり1秒間に125回情報を送信する仕様の製品が殆どです。 レポートレート値が高いほどマウスの動作やボタン操作の情報を、より素早く正確にコンピュータに伝える事が出来ますのでcpiやマウスセッティングと密接な関係を持っているといえますが、かといってむやみにレポートレートをあげるとCPUがUSBポートの監視を行う頻度が増大し、スペックに余裕のないPCをご利用の場合CPU負荷率が増加し快適なプレイに悪影響を及ぼす可能性があります。

## ⑥ センシティビティの設定

ポインタの移動量は、マウスから送られた移動情報（カウント数）を一定の比率に従ってポインタの移動ピクセル数に換算することで決定します。その比率を決めるのがセンシティビティです。センシティビティはアプリケーションごとに異なり、ゲーム内のプロパティでマウス感度と表現されることもあります。 センシティビティは快適さに大きく影響しますのでCPI設定をおこなった際には、OSやゲーム内で必ず調整を行ってください。 速度のつまみを” 0” にセットすると1カウント=1ピクセルの比率に設定されます。 変更はボリューム摘みをドラッグするか選択してホイールで操作をおこなってください。 ご注意 : 本設定はお使いのPCのコントロールパネル内のマウスの設定を変更します。

## ⑦ リフトアジャスト機能

マウスを持ち上げた際にセンサーの読み取りをストップさせる高さを調整可能なリフトオフディスタンス調整機能を搭載しています。

**⚠ 注 意**

読み取り距離の設定を左へ移動させ過ぎると、 一部の表面で読み取り不良が発生する可能性があります。

## ⑧ BACKUP（バックアップ）

現在のマウスに保管されている設定をファイルにバックアップします。

## ⑨ RESTORE（リストア）

バックアップしたファイルからマウス本体へ設定値を読み込みます。現在の設定は上書きされますのでご注意ください。

## ⑩ RESET（リセット）

マウス本体の設定を工場出荷状態に戻します。 すべてのメモリーを消去しますのでご注意ください。 またリセット後はUSBポートからマウスを抜いて、再度USBポートに再接続してください。

## スクリプトセッティング［スクリプトの割り当て］

スクリプトの作成・編集を行います。 画面上の ●► SCRIPT SETTING タブをクリックすると下記画面が開きます。
スクリプトの詳しい作成方法については別項を参照してください。

⑤

## ① スクリプトエディター

実際のスクリプトを作成、編集します。 録画ボタンを押してのリアルタイム作成の他、バーチャルキーボードによるステップ入力による作成を行えます。

## ② マウスメモリー

マウス本体内へスクリプトを保存します。またこのスクリプトがどのモードで使用されているか確認できます。

## ③ スクリプトリスト

スクリプトをローカルPCへ保存します。 スクリプトをグループ毎にまとめたりインポート、エクスポートを行うことができます。 またDRTCM01～03で作成したスクリプトも読み込んで使用することができます。

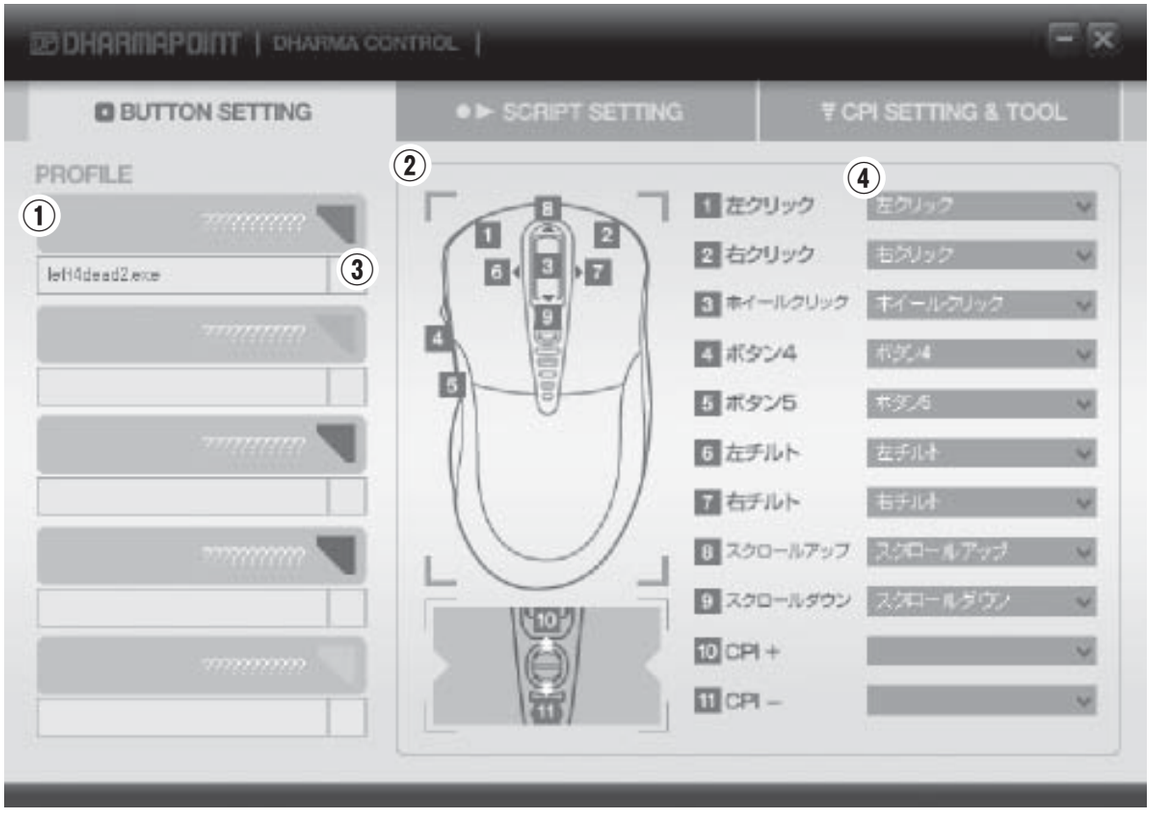
## ④ ボタンエリア

エディットエリアにドラッグ&ドロップすることで作成したスクリプトにキーボードや間隔を追加することができます。 またゴミ箱はスクリプトの消去などに使用します。

## ⑤ バーチャルキーボード

スクリプト作成時にステップ入力するために使用します。

# ボタンセッティング




## ① プロファイルモード

モード別にボタン変更を行うプロファイルを選択します。また設定したアプリケーション毎にモードを切替えることも可能です。

## ② ボタン割り当て画面

モード毎にボタン割り当てを行いプロファイル作成します。割り当て可能な範囲はマウス全体で11カ所あり、それぞれプロファイルをクリックするとボタン割り当て画面も切り替わります。

## ③ MODE切替え設定

拡張子“exe”ファイルを指定することで起動するアプリケーションに応じて変更するMODEを指定することができます。起動ファイル設定アプリケーションによってはセキュリティのため動作しない場合がありますのでご了承ください。

## ④ ボタン割り当設定

モード別にボタン変更を行うプロファイルを選択します。またMODE別にマウス本体に保存されたスクリプトセッティングを割り当てます。タブ“スクリプトセッティング”でマウスメモリーで保存されたスクリプトが選択可能となりますのでご注意ください。

# ボタン割り当ての方法［スクリプトの作成］

## グループの作成

アプリケーションごとにスクリプトを管理できるようグループを作成しましょう。

スクリプトリストの上で右クリックし“NEW Group” を選択し新しいグループを作成してください。

スクリプトリストに新グループが追加されていることを確認してください

## リアルタイムレコーディング

もっとも作成が簡単なスクリプト作成方法です。

録画ボタンを押しキーボード、マウスの操作を記録しスクリプトを作成します。

画面上の

ボタンを押すとレコーディングが開始されます。

この間のキーボード・マウス操作は動作間隔も含め記録されます。

を押すとレコーディングは停止します。

REC ボタンを押すとレコーディングを開始します。

内容を消去したい場合クリックします。

## スクリプトの編集

リアルタイム作成したスクリプトは、タイミングやキーなどの編集を行うことができます。

キーや間隔の追加はエディットエリア下のボタンアイコンをエリア内にドラッグ&ドロップすることで追加できます。

### 間隔を組み込む

作成したスクリプトに間隔を挿入します。 間隔時間を挿入しない場合や極度に少ない場合はゲームシステム側でキャンセルされる場合がありますのでご注意ください。

### キープレス

キーボード上の任意のキーが押された状態をスクリプトに追加します。 通常、間隔の追加とともに下記リリースの追加とセットで使用されます。

### キーリリース

キーボード上の任意のキーがリリースされた状態をスクリプトに追加します。

### マウスクリック

マウスのボタンが押された状態をスクリプトに追加します。

### マウスクリックリリース

マウスのボタンがリリースされた状態をスクリプトに追加します。

### ホイールスクロール

ホイールスクロールの動作を追加します。 ホイールを上に回した場合は1カウント、下に回した場合はマイナス1カウントとされます。

### ゴミ箱

作成したスクリプトや不要な動作を削除する際に使用します。 削除した対象をこのゴミ箱へドラッグ&ドロップすることで削除します。

## 間隔の調整

記録が終わったら次に間隔の調整を行います。

エディットエリア内に表示された間隔をダブルクリックしてください。

間隔入力可能となりますので任意の時間を入力してください。 単位はmsです。

## スクリプト属性の設定

作成が完了したらスクリプトの実行時の動作のためスクリプト属性を決定します。

属性は以下の3種類が存在します。

### 1回だけ実行

もっとも一般的なスクリプトです。 一連のスクリプト動作が終了すると動作を終了します。

### ループモード

登録したキーを押すとあらかじめ設定されたスクリプトの繰り返し動作になります。 再度キーを押すと解除されます。

### ファイヤーキーモード

ファイヤーキーモードはシューティングゲームにおける “連射ボタン” のように押されている間だけ機能しボタンを離すことで解除される機能です。

## ファイヤーキーモードとループの違いについて

通常キーの登録は1 . プレス　2 . 間隔　3 . リリースの3ステップで1動作として記録されます。
しかしこの状態ですとキーを押し続ける状態を保持することができません。 ファイヤーキーモードにチェックを入れると押した状態で有効、離した状態で解除といった動作を割り当てることが可能となります。

## 作成したスクリプトの保存

作成したスクリプトは、エディターエリアにあるだけでどこにも保存されていません。 作成したスクリプトを保管するためローカルPCに保存しましょう。

エディットエリアからスクリプトリストへドラッグ&ドロップすることにより保存は完了します。

エディットエリアからスクリプトリストへドラッグ&ドロップすることにより保存は完了します。

## 保存したスクリプトをマウスで使用するには

### マウスメモリーへのロード

作成したスクリプトをマウスで使用するには、マウス本体内メモリーへ作成したスクリプトをロードする必要があります。

保存したスクリプトをスクリプトリストからマウスメモリーへドラッグ&ドロップします。

## ファイヤーキーモードのスクリプトの作成する

ファイヤーキーモードでの初歩的な動作のスクリプトを作成しましょう。

例としてFPSゲームにおいて一般的な**“しゃがみ”**の動作として

**〈左Ctrl”キーを押すと有効 離すと解除〉**を行うスクリプトを作成します。

一般的なFPSゲームでは
**左Ctrlを押している間**ずっと、
人物はしゃがんだ状態にいます。

左Ctrlキーを離すと解除され、
人物は立ち上がります。

**1.**

をクリックしレコーディングを開始します。

**2.** キーボードの“左Ctrl”キーを軽く押して放してみましょう

**3.** その後、

をクリックしてレコーディングをストップしてください。

**4.** エディットエリアに以下のように表示されます。

入力したキーの内容が
記載されます。

**5.** 次に属性をファイヤーキーモードに変更します。

ダブルクリックでファイヤーキーモードに変更します。

## ファイヤーキーモードがうまく動作しない場合

ゲームタイトルによってはファイヤーキーモードを指定しただけでは動作しない場合があります。

そこで “Ctrlキーリリース” を実行されるとキーを離した状態になってしまうため “Ctrlキーを放す” をゴミ箱にドラッグして削除します。

### 1. 間隔の調整

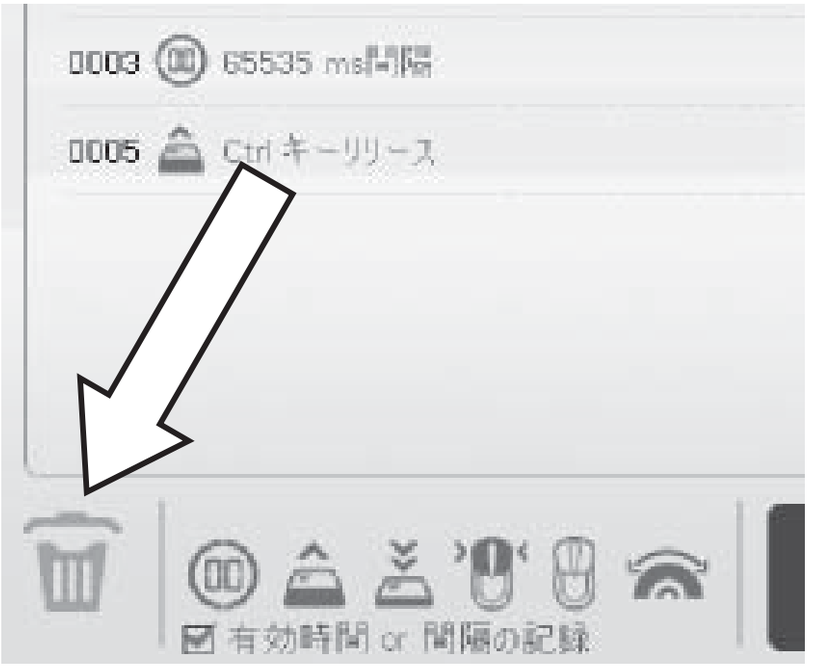
記録された間隔をダブルクリックすると間隔調整ダイアログが出現しますので最長時間の**65535**を入力してください。 単位はmsです。

時間切れによる解除を防止します。

うまく動作しない場合、65535 msに変更します

### 2.“キーリリース”の削除

次に “キーリリース” を実行されるとキーを離した状態になってしまうためリリースキーをエディター内のゴミ箱へドラッグ&ドロップします。




**以上で完了です。 作成したスクリプトは右ペインのスクリプトリストへ保管しましょう。**

## マウスボタンへのスクリプト割り当て

MODE3のボタン5へ作成したスクリプトを割り当ててみましょう。

作成したスクリプトをマウスで使用するには、マウス本体内メモリーへ作成したスクリプトをロードする必要があります。

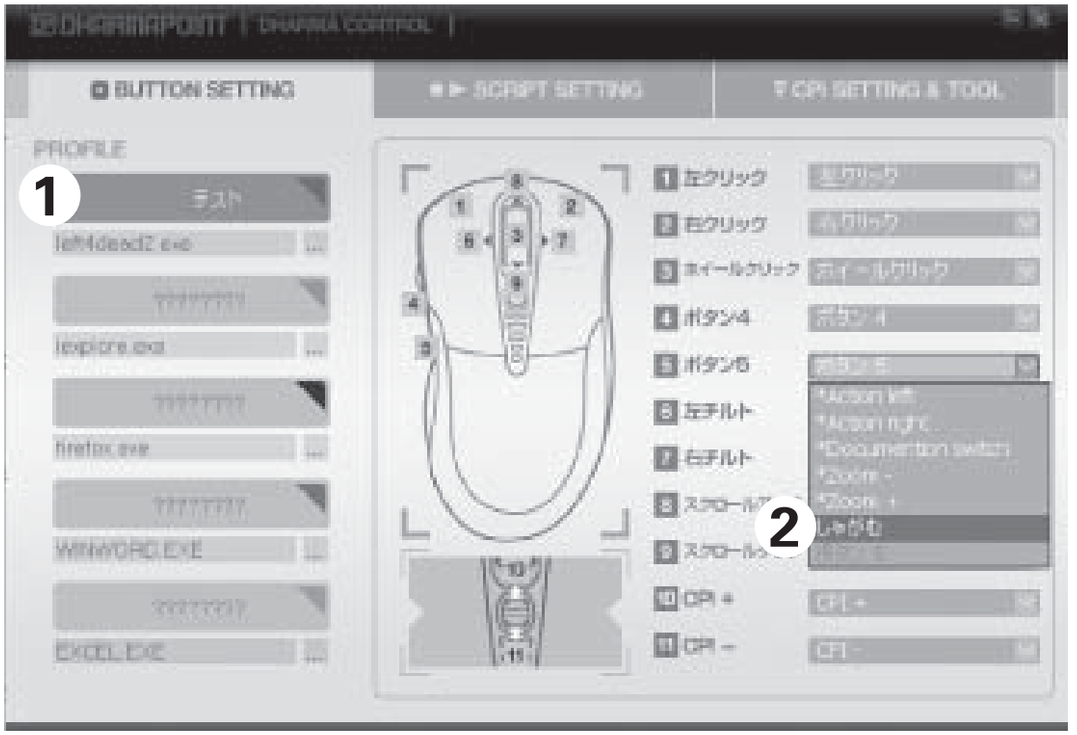
保存した“しゃがむ”スクリプトをスクリプトリストからマウスメモリーへドラッグ&ドロップします。

ボタンセッティングのタブを開いてください。

プロファイル1のボタン5へ作成したスクリプトを割り当ててみましょう。

**1.** プロファイル1をクリックして選択します。

**2.** 割り当てるボタンのリストを開いて“しゃがむ”をセレクトします。



# 作成したスクリプト・グループの管理について

## スクリプトの移動

作成したスクリプトはストレージエリア内で他グループにドラッグして移動させることができます。

スクリプトをドラッグして他のグループに移動することができます。

## スクリプト・グループのインポート・エクスポート

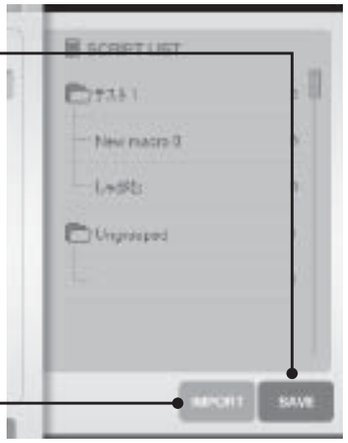
作成したスクリプトおよびグループは、エクスポート機能を使用することで外部ファイルとして管理することができます。 またインポート機能を利用して外部へ保存したスクリプトファイルを読み込むことも可能です。

＊DRTCM01～03の旧ファイルは拡張子を選択し読み込んでください。

**1.** スクリプトを選び“SAVE”ボタンを押します。

**2.** フォルダを選択し名前を付けて保存してください。
拡張子 .mf ファイル として保存されます。

保存ファイルを読み込む場合はIMPORT ボタンをクリックしてください。




## 本体設定のバックアップとリストア

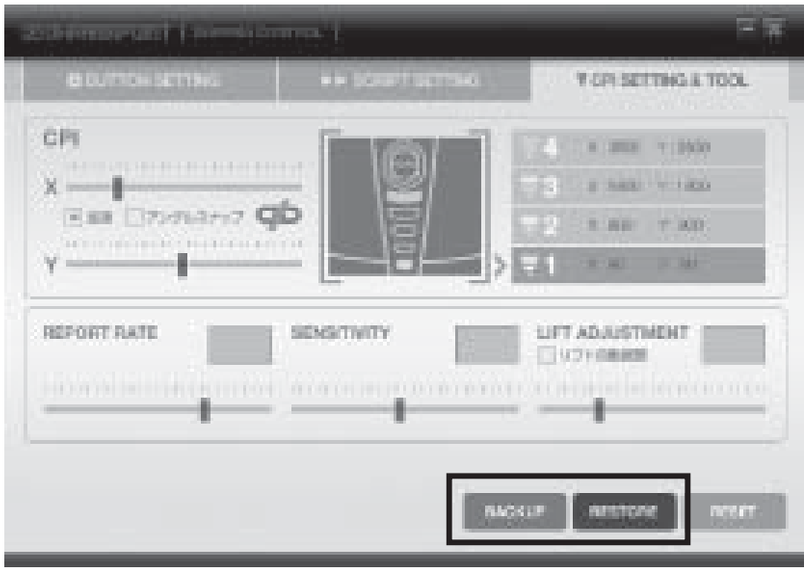
万が一の場合に備え本体内のメモリー内容のバックアップを作成することができます。

CPIセッティング&ツールタブ内にBACKUP/RESOREボタンがあります。

BACKUPボタンを押すと自動的にファイル名が作成されます。 保存先を確認しファイルを保存してください。

リストアする場合にはRESTOREボタンを押し作成したバックアップファイルを読み込んでください。

リストアした場合にはマウス本体に保存していたデータは上書きされますのでご注意ください。

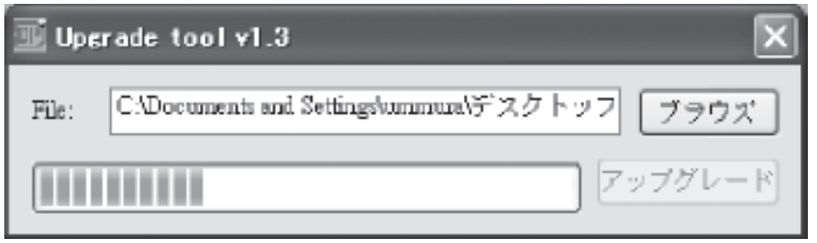


## ファームウェアのアップデート

本製品ではファームウェアのアップデート機能が搭載されており、下記の手順でマウス内蔵ファームウェアの更新が可能です。 またアップグレードの際は必ず本体内のバックアップをお取りください。

ダーマコントロールインストールフォルダ添付のアップグレードツールを起動します。

ファイルをブラウズしアップグレードボタンを押すだけです。




**⚠ 注 意**

アップグレード中は絶対にマウスを操作したり PC の USB ポートから抜き差ししないでください。

# 製品サポート

ダーマポイントのWEBサイトでは、ユーザー登録や製品の最新情報、製品のアップデートファイル、最新のトラブルシューティングなどを提供していますので、ぜひご利用ください。

## ユーザー登録について

弊社ではお客様へのサービスの充実を図るためにユーザー登録をお願いしております。Dharma Pointおよびダーマポイントはシグマ APO システム販売株式会社のゲーム関連ブランドです。ユーザー登録およびユーザーサポートはシグマインフォメーションセンターでのお取り扱いになります。

本製品はオンラインユーザー登録をWEBサイトからカンタンにご登録いただけます。

**http://www.dharmapoint.com/**

## シグマインフォメーションセンター

Dharma Pointおよびダーマポイントはシグマ A・P・O システム販売株式会社のゲーム関連ブランドです。お買い上げの製品でなんらかの不具合が生じたり、修理が必要な場合は、シグマインフォメーションセンターまで、電話、メール等にてご連絡ください。その際、前もって以下のような情報を確認しておいていただきますと迅速に対応しやすくなります。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

- 製品の保証書
- パソコン本体のメーカー名、モデル名、他に使用している周辺機器など
- Windowsのバージョンや使用しているソフトウェアのバージョン
- 障害内容

SIGMA シグマA・P・Oシステム販売株式会社
URL http://www.sigma-apo.co.jp/

▼商品に関するお問い合わせは
シグマインフォメーションセンター 0120-917-498
受付時間9:00～12:00　13:00～17:00　月曜日～金曜日（祝・祭日を除く）